

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

新 年 の ご 挨 拶

佐久間 靖 博

(浪速区医師会 会長)

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

会長就任より10カ月を迎えようとしております。不慣れな会長ではございますが、本会の会務運営に対しまして、会員皆様の厚いご支援と多大なご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年の選挙の結果、大阪府医師会は伯井新会長が、日本医師会は原中新会長が誕生いたしました。日医の副会長3人は他の陣営などから選ばれ、捻じれ執行部となり、先の参議院選挙では医師会より3人の推薦、支援候補が出たため、共倒れとなり全て落選となりました。3人の投票数を足してもわずか17万票余りでした。

昨年4月の診療報酬改定では、医科の改定率は入院(急性期病院)には高く、外来(診療所)には低く設定されました。10年ぶりのプラス改定と言われておりますが、本体0.3%、ネット0.19%とほぼゼロ改定でした。診療所の地域医療貢献加算3点や外来管理加算の5分間ルール廃止などがありましたが、算定基準は厳しいものでした。

期待されて政権交代した民主党ですが、菅

首相のリーダーシップの欠如による党内問題や、判断力、決断力不足による政策問題、また財源不足などからのマニフェストの実行困難で混迷を深めております。しかし小泉政権以来の、医療を疲弊させた要因のひとつでもある、年2200億円の社会保障費削減は撤廃されました。社会保障立国を目指してもらいたいものです。また批判されていた後期高齢者医療制度もH23年度には年度国会に廃止法案が提出される予定になっております。

さて浪速区医師会も問題山積です。公的補助金の削減による財政難。H25年からの新法人改定への移行の準備。現在のところ公益法人はハードルが高く、一般社団法人を選択する医師会がほとんどで、当医師会も後者を予定しておりますが、それでも会計基準の厳しさや移行申請の煩雑さからこの1年間は準備が大変です。

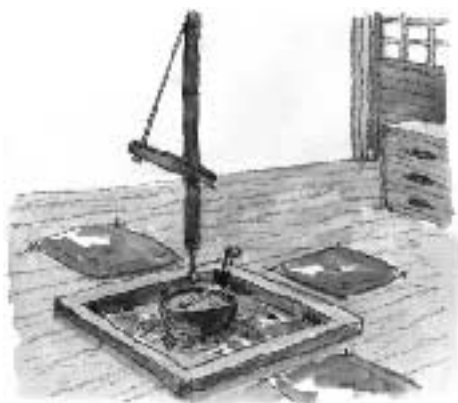
しかし期待される事業もあります。若手会員の尽力でH21年11月から開始されたブルーカード制度は、病診連携が医師会主導で行われるもので、患者さん及びその家族にとって



安心を与えるものです。ただ現在のところ限られた会員だけの利用で、会員全体とまでいっていません。他の医師会からも注目されている画期的なものです。まだまだ進化するよう関連7病院と当医師会委員が毎月委員会で議論を重ねております。会員の皆様が大いに活用されるようお願い致します。

去年は会長職に慣れることで精一杯でした。今年は諸問題における責任は会長にあると自覚し頑張るつもりでございます。会員皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、本年が浪速区医師会員の皆様方にとって良き年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



理事会報告



◎平成22年度12月定例理事会

日 時 平成22年12月17日〈金〉

午後8時～9時22分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 平成22年度医学研究奨励費助成について

＜佐久間会長＞

標記奨励費は、会員グループまたは個人で現在研究中のもの、あるいはこれから研究に着手される学術的活動を対象に標記奨励費を設け、生涯研修の実績をあげるために助成を行うものである。

本会で取り組んでいるブルーカードシステムについて助成の申請をしたい。

協議の結果、了承。

久保田理事が中心となり申請することとなった。

2. 平成23年度からの大阪市介護認定審査委員について

＜佐久間会長＞

介護認定審査会委員の任期が、来年3月末日をもって満了となる。今期委員に、留任の応・否を確認したい。

提案どおり了承。

辞退する者が出た場合は、公募することとなった。

3. 浪速区地域包括支援センター主催の認知

症講演会の共催について＜佐久間会長＞

標記講演会の共催をお願いしたい。

協議の結果、了承。

4. 「電子カルテやCRについて」のアンケート実施について <久保田理事>
資料のとおり、アンケートを実施したい。

協議の結果、一部内容を修正し実施することとなった。

5. その他

- (1)平成23年度予算案について<菱川副会長>
資料のとおり、了承。
事業計画の前文は、有田副会長が担当することとなった。

報告事項

1. 浪速区地域福祉アクションプラン推進委員会(12月13日<月>)について
<佐久間会長>

次第は次のとおり。

- ▷開会
- ▷委員長あいさつ
- ▷推進委員紹介
- ▷議題

- (1)平成21年度 地域福祉アクションプランの取り組み
- (2)平成22年度 地域福祉アクションプランの取り組み
- (3)アクションプランの取り組みに対するふりかえり
- (4)平成23年度 地域福祉アクションプランに向けての取り組み
- (5)作業部会の発足

- ▷閉会

(詳細 略)

2. 新公益法人制度に関する説明会
(12月7日<火>)について<澤井副会長>
大阪府庁別館にて開催された。
一般社団法人への移行について説明があった。

3. 予算委員会(12月13日<月>)について
<菱川副会長>
協議事項「5(1)」を参照。

4. 医師とケアマネージャーとの連絡会
(11月27日<土>)について <久保田理事>
次第は次のとおり。

- ▷浪速区医師会監事あいさつ
- ▷浪速区社会福祉協議会事務局長あいさつ
- ▷ブルーカードの説明
- ▷精神疾患で医療・介護を上手く利用できなかったケース
- ▷小山先生のまとめ
- ▷閉会のあいさつ

本会からの出席者は7名であった。

(詳細 略)

5. 病診連携委員会(11月29日<月>)について
<久保田理事>

次第は次のとおり

- ▷山本第三病院の紹介について
- ▷第16回病診連携委員会報告について
- ▷病診連携委員会のアンケート結果について
- ▷ブルーカード様式の改定について
- ▷ブルーカードの中止報告書について
- ▷ブルーカードの記入用病名コードについて
- ▷府医医学会総会(11月7日)の報告について
- ▷その他

- (1)山本第三病院について
 - (2)富永病院からの確認事項について
 - (3)ブルーカードの登録数の報告について
- (詳細 略)

6. 学術講演会(11月20日<土>)について
<橋本理事>

講演内容は次のとおり。

演 題 「心房細動の新しい治療方針について」

講 師 国立循環器病研究センター
心臓血管内科医長
相原直彦先生

出席者数 27名

共 催 持田製薬(株)

情報提供 エパデールの最近の話題

(詳細 略)

7. 医療問題研究委員会(12月8日〈水〉)について
＜金田理事＞
次のテーマに沿って意見交換が行われた。
テーマ「我が国の医療保障の歴史を考える」
(詳細 略)

8. その他
なし。

次回会議 平成23年1月14日〈金〉午後2時～



2 月度学術講演会の お知らせ

2月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成23年2月26日〈土〉 午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「脳卒中治療の実際

—脳血管内治療、脳卒中地域連携
パスを含めた当院の取り組み—」

講師：大阪警察病院 脳神経外科

医長 明田 秀太 先生



浪速区医師会 活動の伝言板

2月の各業務の出務予定は次のとおりです。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三歳児健診

●保健福祉センター

2月24日〈木〉 午後1時40分～3時30分

眼科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

BCG接種

●保健福祉センター

2月17日〈木〉 午後2時～3時30分

池田 良彦

有田 繁広

大阪市高齢者健康医療相談

●老人福祉センター 午後2時～4時

2月1日〈火〉 大塚 治

2月4日〈金〉 池田 秀博

2月8日〈火〉 古川 雅人

2月15日〈火〉 菱川 秀夫

2月18日〈金〉 入野 宏昭

2月22日〈火〉 桧山 寛市

2月25日〈金〉 藤吉 理夫

急病診療所出務

●中央急病診療所

2月5日〈土〉 午後10時～翌午前6時

菱川 秀夫

2月15日〈火〉 午後10時～翌午前6時

中山 博文

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会

2月8日〈火〉 午後2時～午後4時

徳田 好勇

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲碁部 毎月第1・3・5(土)
(川田信) pm5:00～





あとがき

H.H.

猛暑のあと、久しぶりに寒い冬になりました。

報道によれば、裏日本では「サンパチの豪雪」以来、48年ぶりらしい。

当時、金沢で下宿していたあとがき士は、2階から出入りしていたことを思い出す。豪雪地域に比し、年中、変らない日常生活ができる大阪に住んでいる幸せを感謝せねばと想う。

巻頭言士が新年の挨拶で述べられているように、日本の政治、日医、府医の混乱は気持ちを曇らせる。「今年こそよい年に」とは思えない。いっそ江戸末期や太平洋戦争終了時のように、社会構造が崩壊し、そこから新しい活気ある社会を作れないかと思考する。息子たち、孫たちが社会を支え、理想の世になった時には私はいないだろうが…。

1月14日、仏滅内閣と揶揄される菅第2次内閣が改造され、翌15日、大安の日当医師会の新年互礼会が開催された。

熊田篤嗣民主党衆議院議員をはじめ府会議員、市会議員などのご来賓が駆けつけてくださった。熊田議員はご挨拶の中で、民主党の苦境を「支援者の苦情はうさぎの逆立ち、耳

が痛い」と吐露されていました。

互礼会の後、約20人の会員が残り、情報交換、歓談で楽しい二次会が行われた。医療機関連携担当理事の久保田先生がブルーカードの将来像について熱く語られ、浪速区医師会の発展性を確信した。11日先勝の日に行われた一般社団法人への移行準備会議についての話題も少し出た。これから1～2年の間、役員の方には大変でしょうがよろしくお願いします。



目次	ページ
巻頭言	
新年のご挨拶	佐久間靖博 1
理事会報告(12月開催)	2
2月学術講演会のお知らせ	4
浪速区医師会活動の伝言板	5
あとがき	6

【区医だより】

発行者 佐久間靖博

編集者 中村泰久 橋村直隆

印刷所 株式会社 サビ

投稿規定

1. 原稿用紙使用、横書き
2. 原稿枚数：不問(但し分載あり)
3. 締切：5日(厳守)
4. 発行：25日前後